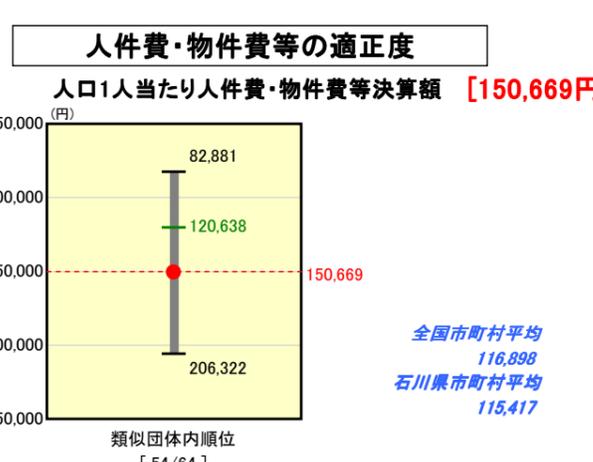
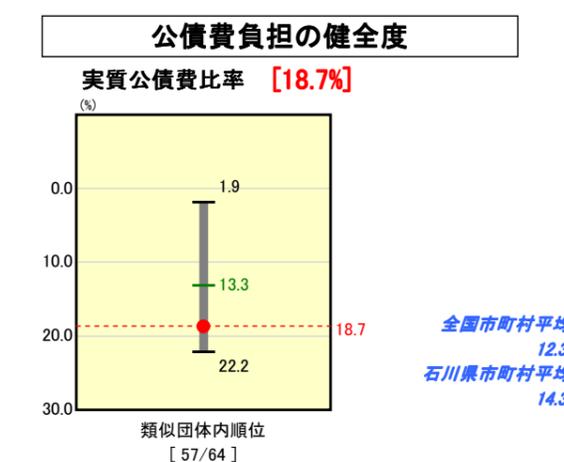
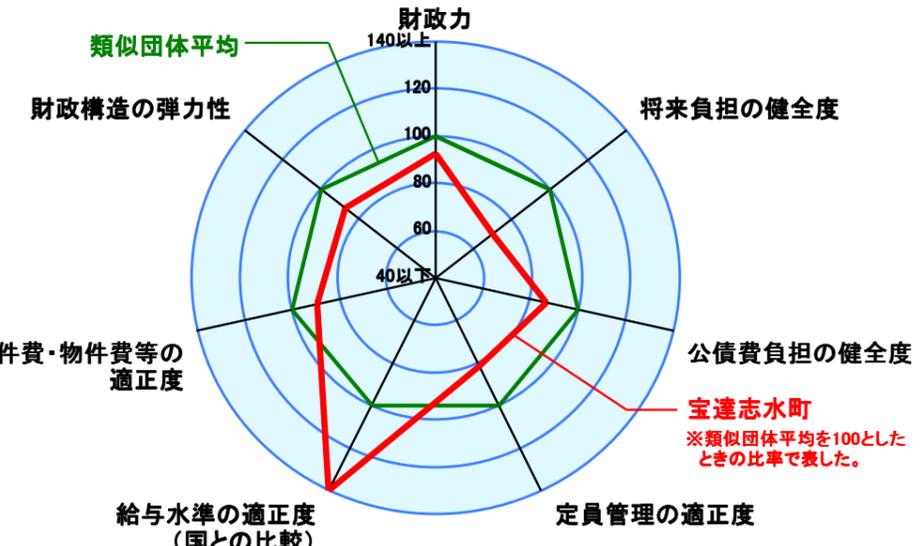
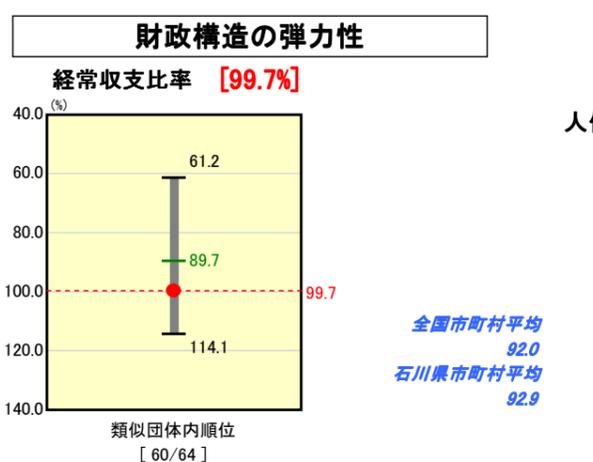
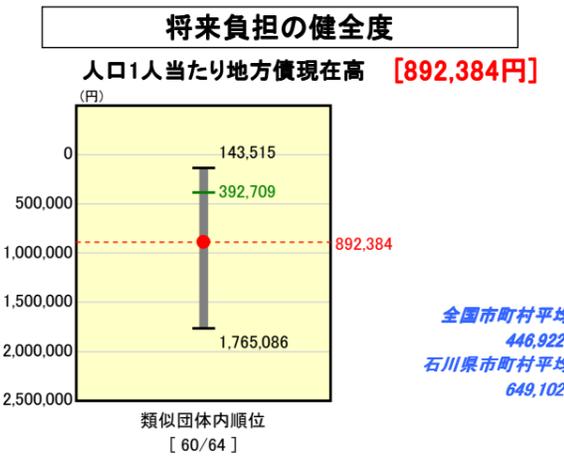
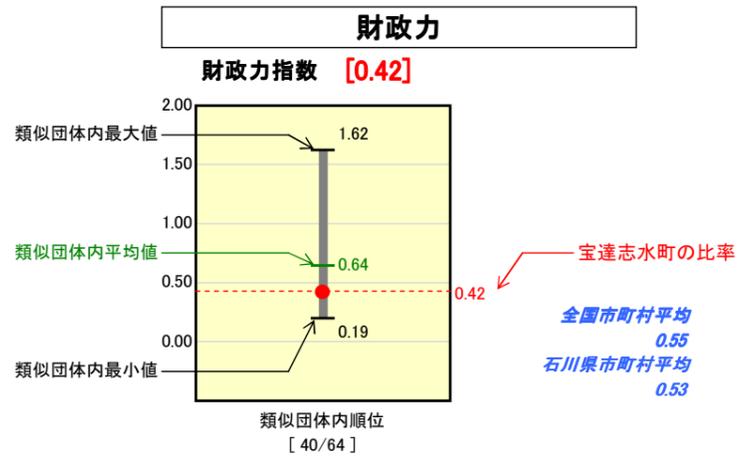


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

石川県 宝達志水町

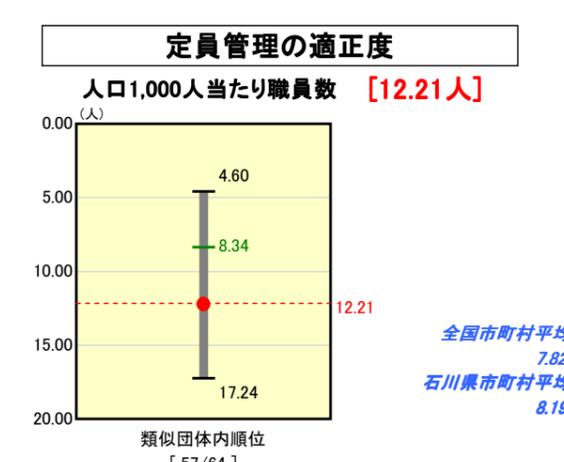
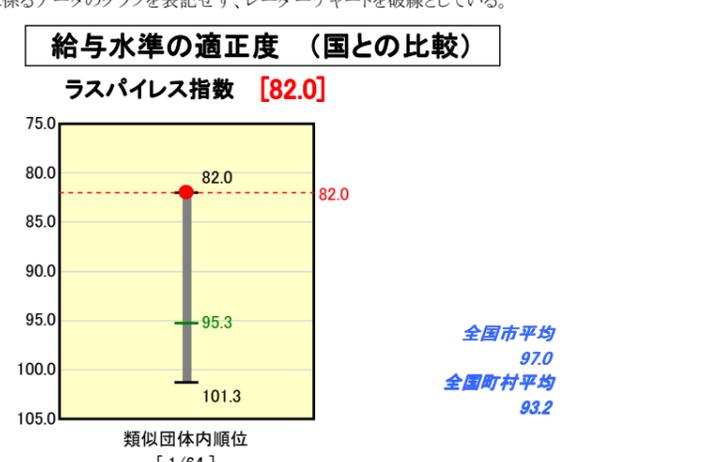
人口	15,479人	(H20.3.31現在)
面積	111.68	km ²
歳入総額	7,361,828	千円
歳出総額	7,265,533	千円
実質収支	75,708	千円



人件費・物件費等の適正度

給与水準の適正度 (国との比較)

※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレース指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数 : 合併により財政基盤の強化が図られたものの、依然として類似団体を下回っていたことから、退職者不補充による職員数の削減や、職員の給与カット等による人件費の削減(3年間で15%)等により歳出の見直しを図ったが、未だに低い水準にあるため、さらなる人件費の削減や、税収の徴収率の向上に努め、財政基盤の強化を図る。

経常収支比率 : 扶助費及び公債費の増加により、99.7%と類似団体平均を上回っている。今後は人件費の削減、経常経費の削減など歳出全般の見直しを図り、比率の改善を図る。

ラスパイレース指数 : 類似団体の中では最低水準にあるが、今後も給与の適正化に努める。

実質公債費比率 : 普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体を上回っている。今後も大型事業の償還により公債費が増加するため、新たに発行する合併特例債の償還期間を延長して負担額を平準化することで、実質公債費比率の急激な上昇を抑える。

人口1人当たり地方債現在高 : 合併特例債等の大型事業により増加し、類似団体平均を大きく上回っている。今後は、新規地方債の発行額を償還額以内とするなど抑制に努め、残高の縮減を図る。

人口1,000人当たりの職員数 : 合併に伴い類似団体平均を上回っているが、今後は退職補充を最小限に抑え、集中改革プランに基づき、21年度までに現在の189人から13人の削減を行う。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 : 類似団体平均に比べて、人件費・物件費が高くなっているのは、それぞれ、合併による施設の数が増加、職員数の増加が原因である。今後は、公共施設等の統廃合を積極的に進め、施設維持管理費の縮減を図り、職員数の削減により人件費総額の削減を図る。